

## 運動エネルギーの伝達の仕組みと利用

運動エネルギーの伝達について導入題材として、もぐらたたきの製作を行う。

学習ノート B P20（4）を使用する。

- 厚紙を使用して作ったもぐらたたきを実際に見せ、中の様子を予想して学習ノートに書き込む。
- グループごとになり、学習カードを拡大したものに意見を寄せ合い、仕組みを予想する。
- 発表試合、厚紙を使い実現できそうか試してみる。
- 製作したものを検討し、理想の動きに近づくために必要な条件を考える。
- 教師の試作品の仕組みを検討する。
- カム機構と往復スライダ機構の2種類が使われていることを確認し、それらが使用されている身近な製品（エンジン）を紹介する。

生徒の予想



エネルギー伝達の学習の導入として、扱うことで機構といった仕組みや回転運動が直線運動に代わる運動の変換について学ぶことができる。